

2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月28日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績(2018年9月1日~2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	4,847	21.0	23	△95.7	55	△90.5	△6	—
2018年8月期第3四半期	4,004	5.1	560	△11.2	581	△7.1	388	3.1

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 △0百万円(—%) 2018年8月期第3四半期 462百万円(20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	△0.16	—
2018年8月期第3四半期	9.60	9.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	5,993	2,934	48.6
2018年8月期	6,502	3,268	50.1

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 2,913百万円 2018年8月期 3,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	3.60	3.60
2019年8月期	—	0.00	—		
2019年8月期(予想)				3.60	3.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日~2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,000	28.9	△300	—	△290	—	△300	△7.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期3Q	44,390,400株	2018年8月期	44,390,400株
② 期末自己株式数	2019年8月期3Q	3,489,074株	2018年8月期	3,883,274株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期3Q	40,769,043株	2018年8月期3Q	40,495,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年9月1日から2019年5月31日）につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館事業における強固な事業基盤の構築」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

主要戦術の1つであるプロダクトの改善においては、2019年3月28日にアプリの全面リニューアルを実施し、当初は一部不具合が発生しましたが、デザインの刷新、操作性の向上、新機能の追加等により、これまで以上に手軽に、そしてスムーズにご注文いただけるようになりました。

また、シェアリングデリバリー®事業展開の加速においては、2019年4月には北海道に進出するなど、引き続きサービスエリアが順調に拡大し、2019年5月末時点で161拠点となりました。第3四半期連結会計期間においても「スシロー」等の大手チェーンや地元の人気店が新規に加盟しました。

このほか、オペレーションの効率化においては、加盟店舗及び配送拠点の人手不足を支援するための新サービスである「shotworksデリバリー with 出前館」の提供を2019年3月13日に開始しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,847,287千円（前年同期比21.0%増）と増収であったものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業利益は23,966千円（前年同期比95.7%減）、経常利益は55,194千円（前年同期比90.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,558千円（前年同期は388,748千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	300,728	7.5	353,234	7.3	52,505	17.5
オーダー手数料	1,918,459	47.9	2,376,919	49.0	458,460	23.9
広告収入	11,356	0.3	21,232	0.4	9,876	87.0
システム受託開発	53,439	1.3	42,806	0.9	△10,633	△19.9
その他	693,981	17.4	1,072,777	22.2	378,796	54.6
小計	2,977,964	74.4	3,866,970	79.8	889,005	29.9
通信販売事業	1,026,889	25.6	980,317	20.2	△46,571	△4.5
合計	4,004,853	100.0	4,847,287	100.0	842,434	21.0

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるアクティブユーザー数は約290万人（前年同期比10.7%増）、加盟店舗数は19,452店舗（前年同期比18.3%増）、オーダー数に関しましては約2,090万件（前年同期比23.0%増）となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、基本運営費353,234千円、オーダー手数料2,376,919千円、広告収入21,232千円、システム受託開発42,806千円、その他1,072,777千円となり、セグメント売上高は3,866,970千円（前年同期比29.9%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行い、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は980,317千円（前年同期比4.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で760,060千円減少し、4,509,898千円となりました。主な増減の要因は、未収入金が432,211千円、その他が50,660千円増加した一方、現金及び預金が1,074,589千円、受取手形及び売掛金が143,119千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で251,817千円増加し、1,484,016千円となりました。主な増減の要因は、ソフトウェア仮勘定が155,744千円、有形固定資産が52,229千円、投資有価証券が28,841千円増加したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で508,242千円減少し、5,993,914千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で132,758千円減少し、3,031,878千円となりました。主な増減の要因は、短期借入金が500,000千円、未払法人税等が80,321千円減少した一方、未払金が469,112千円増加したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で40,671千円減少し、27,920千円となりました。主な増減の要因は、その他が37,665千円、長期借入金が3,006千円減少したことによるものです。

純資産残高は、前連結会計年度末比で334,812千円減少し、2,934,116千円となりました。主な増減の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を6,558千円、自己株式の処分90,555千円を計上した一方、剰余金の配当145,825千円を支出したほか、自己株式の取得299,947千円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の連結業績予想につきましては、2019年3月28日公表の「2019年8月期 第2四半期決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,928,218	1,853,629
受取手形及び売掛金	350,154	207,034
商品及び製品	61,238	66,702
未収入金	1,864,879	2,297,091
その他	69,364	120,024
貸倒引当金	△3,897	△34,584
流動資産合計	5,269,958	4,509,898
固定資産		
有形固定資産	122,855	175,084
無形固定資産		
ソフトウェア	588,166	593,337
ソフトウェア仮勘定	16,015	171,759
その他	138	138
無形固定資産合計	604,320	765,235
投資その他の資産		
投資有価証券	348,380	377,222
差入保証金	114,590	118,721
繰延税金資産	13,865	13,865
その他	28,431	34,659
貸倒引当金	△244	△772
投資その他の資産合計	505,023	543,696
固定資産合計	1,232,199	1,484,016
資産合計	6,502,157	5,993,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,960	97,048
短期借入金	800,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	4,008	4,008
未払金	1,985,520	2,454,633
未払法人税等	110,232	29,910
賞与引当金	32,662	37,133
その他	133,252	109,143
流動負債合計	3,164,636	3,031,878
固定負債		
長期借入金	3,634	628
その他	64,957	27,292
固定負債合計	68,591	27,920
負債合計	3,233,227	3,059,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	637,340	652,228
利益剰余金	1,813,455	1,659,100
自己株式	△466,962	△676,354
株主資本合計	3,097,134	2,748,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157,641	164,776
為替換算調整勘定	1,043	—
その他の包括利益累計額合計	158,685	164,776
新株予約権	6,637	21,064
非支配株主持分	6,472	—
純資産合計	3,268,929	2,934,116
負債純資産合計	6,502,157	5,993,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高	4,004,853	4,847,287
売上原価	1,478,441	1,878,032
売上総利益	2,526,411	2,969,254
販売費及び一般管理費	1,965,973	2,945,288
営業利益	560,438	23,966
営業外収益		
受取利息	38	53
受取配当金	1,465	1,709
貸倒引当金戻入額	—	5,005
持分法による投資利益	19,081	24,613
その他	2,141	2,082
営業外収益合計	22,727	33,463
営業外費用		
支払利息	506	1,521
為替差損	—	455
その他	799	257
営業外費用合計	1,305	2,235
経常利益	581,859	55,194
特別利益		
固定資産売却益	4,416	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	4,417	3
特別損失		
固定資産除却損	782	8,924
減損損失	11,824	—
関係会社株式売却損	—	8,676
特別損失合計	12,606	17,600
税金等調整前四半期純利益	573,670	37,597
法人税等	185,477	44,156
四半期純利益又は四半期純損失(△)	388,192	△6,558
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△556	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	388,748	△6,558

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	388,192	△6,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,956	7,135
為替換算調整勘定	△2,156	△1,043
その他の包括利益合計	74,799	6,091
四半期包括利益	462,992	△467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,833	△467
非支配株主に係る四半期包括利益	△841	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、2019年1月16日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式199,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が299,947千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は676,354千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,977,964	1,026,889	4,004,853	—	4,004,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	147,026	147,026	△147,026	—
計	2,977,964	1,173,915	4,151,879	△147,026	4,004,853
セグメント利益	591,394	163,577	754,972	△194,533	560,438
その他の項目					
減価償却費	116,004	9,973	125,978	—	125,978
のれん償却額	—	68,555	68,555	—	68,555

(注) 1. セグメント利益の調整額△194,533千円は、報告セグメントの減価償却費△125,978千円及びのれん償却額△68,555千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、原則として、事業用資産についてはセグメントを基準として、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当第3四半期連結累計期間において、「出前館事業」セグメントで東京本社の移転を行ったため、遊休資産等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額(11,824千円)を減損損失として計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,866,970	980,317	4,847,287	—	4,847,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	189,670	189,670	△189,670	—
計	3,866,970	1,169,988	5,036,958	△189,670	4,847,287
セグメント利益	30,563	170,128	200,692	△176,725	23,966
その他の項目					
減価償却費	164,527	12,198	176,725	—	176,725
のれん償却額	—	—	—	—	—

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,725千円は、報告セグメントの減価償却費△176,725千円が含まれております。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。